

八百津町合併60周年記念式典を開催



ファミリーセンター大ホールで「八百津町合併60周年記念式典」が開催され、節目の年を祝いました。

式典では、八百津町文化協会設立40周年記念式典も併せて開かれました。

また、地元の民踊研究会とキッズダンスチームによる舞台、町政への功労者などに対する記念表彰、女優の樹木希林さんによる記念講演会がありました。



式典で式辞を述べる赤塚町長(中央)

千畝さんの足跡学ぶぞ！



中学生海外派遣結団式がファミリーセンター大研修室で開かれ、八百津中学校と八百津東部中学校の3年生合わせて18名と随行者4名が出席し行われました。

この事業は町出身の会社会長吉田茂さんの寄付による「吉田茂国際交流基金」を活用し行われています。

式では、団員一人ひとりが夏休みに入り事前研修で英会話を学んだ成果として、英語で自己紹介や抱負を述べました。

一行は8月12日に出発し、アメリカのワシントンとニューヨークを訪ね、8月21日まで10日間にわたる研修を行いました。中学生は一般家庭に単身で6日間ホームステイしたほか、ワシントンではホロコースト記念博物館を見学し、同町出身の元外交官・杉原千畝氏の足跡も学びました。



海外派遣に参加する中学生ら

町内の各校がいじめ撲滅へ決意！



ファミリーセンター大ホールで、町内の小中高生26人が参加し、社会問題になっている「いじめ」について語り合う「児童・生徒会サミット27」が開催されました。

サミットでは、昨年行われた児童・生徒会サミットにて発信された「人道の町八百津からいじめをなくす撲滅宣言」を基に、町内の小中高8校のそれぞれが誇るいじめ撲滅に対する人道活動の取り組みについて発表しました。その後、「インターネットでのいじめ」を含めいじめ撲滅には何が大切か、話し合いをし、最後に「いじめ撲滅に向かって」小・中・高それぞれの話し合いの結果を発表し、いじめや人権について再認識する良い機会となりました。



いじめ防止への目標を発表する生徒ら

やおつ沸かせた！野外音楽フェスティバル「RAINBOW CHILD 2020」



蘇水公園などで野外音楽フェスティバル「RAINBOW CHILD 2020」が開催されました。

このイベントは「2020年に向けて地球に虹をかけるフェスティバルの創造」をコンセプトに、民間の実行委員会が主体となり昨年からは開催されています。

日本昭和村会場では9組のアーティストによるライブや映画上映会、蘇水公園会場では26組のアーティストのライブのほか、スケートボードやマリンスポーツの無料体験、66ブースの飲食等の出店もあり、真夏のやおつを盛り上げました。



屋外ステージで曲を披露するアーティスト